



## 10月は環境月間です

### ごみのポイ捨てはやめましょう!!

「出雲市ポイ捨て禁止推進協議会」では、10月をポイ捨て禁止月間と定め「出雲市18万人ポイ捨て一掃大作戦」を展開します。

この作戦は、住民1人あたり、家庭で不要になったビニール袋1袋分のポイ捨てごみを拾うことを目標にしています。捨てたごみは、分別して、家庭の指定袋に入れて収集日に出してください。

「ごみは、捨てない、持ち帰る」を心がけ、一人ひとりがマナーを守り、きれいな出雲市にしましょう。



### 犬のふんは飼い主が責任を持って片付けましょう!!

散歩のときは、ふんを片付けるための用具を携帯し、ふんは、必ず持ち帰って処分しましょう。(埋めたり、河川等に捨ててはいけません。)

持ち帰ったふんは、新聞紙等に包み、可燃ごみとして指定袋に入れて出すことができます。みんなが気持ちよく過ごせるよう「犬のふんは放置しない」というルールを守りましょう。

## 9月20日～26日は『動物愛護週間』です。



### 飼い犬の登録と狂犬病予防注射を受けましょう。

飼い犬は、登録と狂犬病予防注射を接種すること、鑑札、注射済票をつけておくことが法律で義務付けられています。

犬の飼い主や住所が変わったとき、犬が死亡したときは、必ず環境政策課または各支所環境担当課へ届出をしてください。



### 犬の飼い主には、「けい留義務」があります。

犬は、必ずつないで飼育するか、しっかりした囲いの中で飼うようにしてください。

散歩の際は、リードや鎖をつけましょう。首輪が緩んでいないか、リードや鎖が切れそうになっていないか定期的に点検しましょう。

また、鳴き声、におい等により周囲に迷惑をかけないようにしましょう。



# 身近なところから「ごみ減量」を！

日常生活の中で何気なく捨てている「ごみ」。私たちは、便利で豊かな暮らしを送る一方でごみを出し続けています。

私たちが出した燃えるごみは、ごみ収集車で収集し、出雲エネルギーセンターで焼却処理し、最終的には神西埋立処分場で埋め立てられています。しかし、一人ひとりが無自覚にごみを出し続けると、近い将来、ごみの行き場がなくなってしまうかもしれません。



燃えるごみの収集の様子

そこで、私たちが出すごみの量はどのくらいなのか？どんなもの

が多く含まれているのか？どうすればごみの量が減らせるのか？もう一度、自分の出すごみについて考えてみましょう。



新聞・ダンボールはリサイクルへ

## 市民一人が、昨年一年間に出したごみの量は…

皆さんは、自分がどれくらいのごみを排出しているかご存じですか。

平成26年度中に、出雲市の家庭や事業所から出された可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみの総排出量は、61,765tでした。

これは、市民一人が一日に約970g、一年間で約354kgのごみを出したことになります。思い

のほか多いと感じた方もいらっしやると思います。



生ごみはぎゅっとひと絞り

## ごみの排出量を一人一日40g減らしましょう！

一人当たりのごみの平均排出量970gを毎日たった40g（およそ4%）減量するだけで、市内全体で年間2,548tを超えるごみの削減につながります。そこで家庭からのごみ排出について話し合い、一人ひとりが意識的に減量に努めましょう。ごみの量を減らすためには、個別包装された商品を買う控えるなど、身近にできることから始めてみてください。

ごみ処理費用の削減や埋め立て処分場の延命化など、社会全体に

とって大きな効果をもたらすことが出来ます。

## 40gの目安は…

そこです、40gの減量に取り組みましょう。

40gを考える重さの目安は、バナナの皮半分・CD3枚などです。



40gの目安はバナナの皮半分くらい

## 可燃ごみを減量しましょう！

ごみ処理施設で処理されたごみの内容（平成26年度）を見ると、紙・布類、生ごみなどの可燃ごみが全体の78%を占めています。毎日の生活の中で可燃ごみを少しでも減らすことができれば、大きなごみの減量につながります。皆さんのご協力をお願いします。